

# 消防団たずね歩き

## 全天候型の小型動力ポンプ操法訓練場



### ●垂水消防団の現状

垂水消防団では、消防団再構築による定員の増加に伴い10人の欠員が生じていますが、8分団160人で日々の災害対応や訓練、地域の方への訓練指導をおこなっています。

独自の取り組みとして「技能指導者認定制度」をおこなっています。これは、消火器、小型動力ポンプ、応急手当に関する消防署主催の講習会で精度の高い知識・技術を学び、地域の方への訓練指導ができるようになるものです。また、毎年秋期には総合訓練もおこない、知識、技能のレベルアップを図っています。

### ●神戸市ポンプ操法大会への出場分団

今年の「神戸市ポンプ操法大会」には、森敦二分団長が率いる「西垂水分団」が出場することになりました。団員数は垂水消防団の中で最も多い36人、平均年齢30歳前半の精鋭分団です。管轄区域は、垂水駅周辺とその北部の住宅地域、お洒落な

ファッションのテナントが多いポルトバザールのある沿岸地域です。災害防御の他、「海神社」や「瑞丘八幡神社」の祭祀時の雑踏警備も積極的にこなっています。

### ●全天候型訓練場

ポンプ操法の訓練場所は、神戸淡路鳴門自動車道の高架下にある「舞子台ふれあい市民公園」です。高架下のため雨や陽射しの影響を受けることなく、ただ1点を除けば訓練に集中できる素晴らしい場所です。それはコースの途中で段差30cm程度の緩やかな登り坂があることです。過去にも転倒者が続出し「魔の坂」と呼ばれています。初回の訓練でも消防職員から「必ずスピードを落して」と注意を受けたにも関わらず派手に転倒しました。

訓練現場ではスピードダウンを心掛け、大会会場ではスピードアップを目指して優秀な成績を残せるように頑張りたいと思っています。

(垂水消防団長 佐藤博司)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

